

前期課程(春季入学試験)

2025年 2月15日

科目名	受験番号	
日本語	氏名	

1 次のひらがなの文章を、漢字・カタカナにできるところを漢字・カタカナにし、読みやすい日本語にしてください。(20点)

どくさいせいじのもとではとっけんかいきゅうのそんざいはゆるさないのがりそうである。くんしゅのまえにはだいじんもちほうかんもしょうにんものうみんも、すべていちようなしんみんでなければならない。しかしながらくんしゅひとりですべてのせいじをやってゆくことはふかのうである。どうしてもぼうだいなかんりょうそしきがひつようである。ただしこのかんりょうはたんにてんしをたすけてじんみんのせいかつをほしょうするという、てんしのにんむをだいこうするだけのものである。くんしゅがじんみんのざいをじこのよくぼうのためにしょうひすることをつつしむように、かんりょうもまたじこのしよくのためにせいじをおこなってはならない。かんりょうはてんしとじんみんのためにそんざいすべきもので、かんりょうじしんのためにそんざいしてはならないのだ。

ところが、じっさいもんだいとしてこれはひじょうにむつかしい。てんしからいにんされたけんげんがきょうだいなために、ともすればかんりょうはそれをじぶんじしんのためにりょうしてじんみんのことはいっこうにかんがえないのみか、かえってじんみんをさくしゅしてしふくをこやすものがおおいのだ。かんりょうどうしがみっせつにれんらくをとって、たがいにじこのあくじをいんぺいしあい、そのかげにかくれてわいろをとったりこうきんをごまかしたりする。かんりょうどうしがそうごにめんつをたてあって、けってんをかばいあうのがむしろびとくとさえされている。そこにてのつけられないかんかいのきふうというものがはっせいする。なかでももっともいけないのがこうとうぶんかんしけんたるかきよのしゅっしんしゃである。

2 次の①～⑩の文には正しくない漢字の使い方をしているものが五つあります。その番号(①～⑩)を選び、正しくない漢字と正しい漢字を書いてください。(4点×5=20点)

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① 正月の子の日に小松を引く | ② 新春に護摩を炊く |
| ③ じつと虚空を睨む | ④ 苦渋の決断を下す |
| ⑤ 春風が氷を解く | ⑥ 責任を転化する |
| ⑦ 借金を精算する | ⑧ 実も蓋もない話 |
| ⑨ 趣味が嵩じる | ⑩ 「本日土曜丑の日」(平賀源内) |

3 次の①～⑤の下線部の読みを書いてください。(4点×5=20点)

- ① 善行を嘉する
- ② 序でにお越してください
- ③ 神仏に供物を捧げる
- ④ 諸手を挙げて賛成する
- ⑤ 「有為の奥山けふ越えて あさき夢みし酔ひもせず」(いろは歌)

4 次の①～⑤の下線部に該当する漢字を書いてください。(4点×5=20点)

- ① 故人をほうふつとさせる面差し
- ② 子どもが落葉の山をけちらす
- ③ 地獄のごうかに焼かれる
- ④ 急にとんきょうな声をあげる
- ⑤ 「さみだれを あつめて早し 最上川」(松尾芭蕉)

5 次の①～⑤の()に適切な言葉を入れて、常体と敬語表現のペアにしてください。(4点×5=20点)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 例：先生が、言った | ・先生が、(おっしゃ)った |
| ① そろそろ帰ります | ・そろそろ()します |
| ② 以前、会いましたね | ・以前、お目に()ましたね |
| ③ お話を聞いて理解しました | ・お話を()ました |
| ④ 残念ですが、できません | ・残念ですが、いたし()ます |
| ⑤ お電話があったと伝えておきます | ・お電話くださったことを()ます |

前期課程(春季入学試験)

2025年 2月15日

科目名	受験番号	採点欄
日本語	氏名	

2	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
	番号	正しくない漢字	正しい漢字		
3	①	②	③	④	⑤
4	①	②	③	④	⑤
5	①	②	③	④	⑤